

## 令和7年度 自己評価結果公表シート

### 1. 保育理念

ひとり一人の個性を大切に、笑顔の絶えない明るい保育園へ  
保護者と共に子どもの秘めている無限大の力を引き出し未来へ繋げていく

### 2. 保育目標

色んなことにチャレンジする中で安心して伸び伸びと楽しみ  
大きく成長できるような保育

### 3. 本年度保育内容の重点目標

- ① 優しく思いやりの気持ちを養う
- ② 自分を受け入れ、相手を受け入れられる気持ちを大切にし、一人一人に応じて手助けする
- ③ 何事にも前向きに挑戦する気持ちを尊重する

### 4. 重点目標に向けての具体的な保育計画

- ① 模倣されても良い行いを保育者は心がけ、「ありがとう」の感謝の気持ちを素直に伝えられるよう働きかける
- ② 子ども一人ひとりの感情や背景を職員全員が把握できるよう会議などで共有する
- ③ 指先から全身を使った遊び感触を楽しむ遊びを経験する。制作から戸外、食育で初めての事柄に新しい体験の中で「やりたい」気持ちを育てる

## 5. 目標達成及び取り組み状況

A：十分達成されている

B：達成されている

C：取り組みしているが成果がでない

D：取り組まれていない

評価項目	結果	状況	課題・取り組み
①	B	優しく接している姿や手伝いをして嬉しい気持ちになっている一方、自分がやってあげたい気持ちが強く出てしまうことがあった 乳児はスキンシップがよく取れており穏やかに過ごしていた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児はお話や絵本で気持ちを一緒に考えてみる。</li> <li>・職員間のコミュニケーションや手仕事を生活空間の一つとして子ども達に見て感じてもらう、その為に接し方話し方を職員会議で話し合っていく</li> </ul>
②	B	担任とじっくり関わることで信頼関係ができていた。個々の子どもの気持ちを受け止めることで安心して活動ができていたが、行事や振休などで全職員へ定期的に伝達する場面がないことがあった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて過ごせる環境構成をする</li> <li>・室内を整理整頓し個々の場所を設定する</li> <li>・自らの心を受け入れるために集中できる空間作りをする</li> <li>・全職員が背景を感じ取るために会議で子どもの様子や意見を伝え合うようにする</li> </ul>
③	B	色々なことを経験して意欲的な姿が見られた。異年齢の活動の際は本当にその子がやりたかったのか？時折その場から離れたり興味がなくなったりする子もいた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものやりたい気持ちを捉え職員間で共有し保護者にもその様子を伝えるようにしていく</li> </ul>

## 6. 園長より総評

職員はどんな場面でも子どもたちとよく向き合っていた。その日のこどもの体調から気持ちを保護者と共有しながらできるだけ一人ひとりを受けとめていた。新しい取り組みを保育の中でチャレンジし経験を通して子どもと共に楽しむことができていた。今年度は保育園自体の環境が大きく変わり、保育活動に心配や不安がでないよう子ども達を温かく見守り穏やかに接していくことを全体で意識してきた。目標がB評価であることは、仕事の効率化よりも職員のコミュニケーションを強化し子ども達へ良い影響をもたらす内側に重視した結果だと感じる。また「保育所保育指針」の理解に努力が必要だったため子どもの最善の利益を考慮するためにも職員掲示板へ「保育所保育指針」を掲示する。